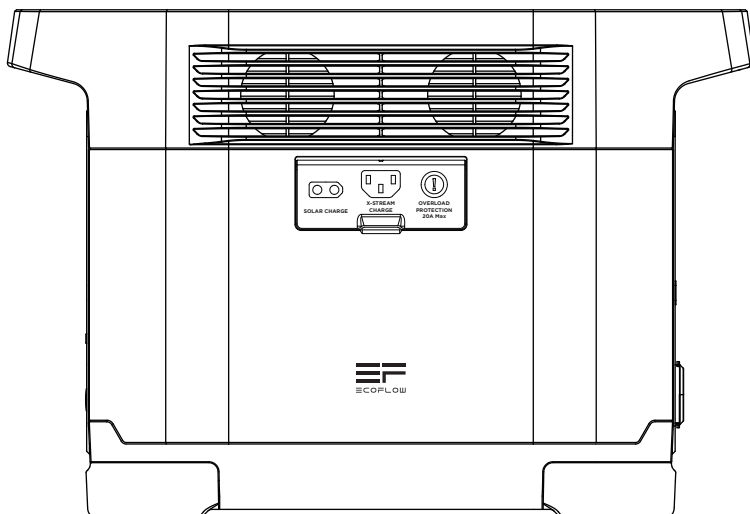


# ≡COFLOW

## ユーザーズガイド

# ≡FDelta



お問い合わせ：  
support.jp@ecoflow.com  
www.ecoflow.com



1. 高温・多湿を避け、直射日光の当たらない場所で保管してください。
2. 分解・解体・改造・焼却はしないでください。また、強い衝撃を避け、変形や変色が見られる場合は使用を中止してください。
3. 廃棄場所の規制に従って、正しくリサイクルまたは廃棄してください。

## 製品に関する安全上の注意事項

製品を使用する際は、下記注意事項に従って安全に使用してください：

- a) 製品を使用する前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- b) 小さなお子様だけの使用は避け、お子様の近くで使用する場合も、十分に安全に配慮して使用してください。
- c) 製品のコネクターやプラグに、指など身体の一部および異物を入れないでください。また、濡れた手で製品の操作、使用は避けてください。
- d) 付属の電源アダプタおよび製品で使用可能な弊社のアクセサリ以外の物は、火災、感電、破損の恐れがあるので使用しないでください。
- e) 本体の冷却ファンを塞いだり直前に物を置くなど、空気の流入・排出を妨げないように使用してください。
- f) 製品が損傷（変形・変色・正常に動作しない）した場合、および改造されたバッテリーパックや電気器具は接続、使用しないでください。
- g) 破損または破損の恐れのあるコード、プラグ、ケーブルなどは製品に接続しないでください。
- h) サービスまたは修理が必要な場合は、ご自身で製品を分解・修理はせず、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- i) 輸送の際は製品から全てのプラグ・ケーブル・コネクタ類を外し、電源をOFFにしてから安全に梱包してください。
- j) 充電の際は高温多湿を避け、換気の良い場所で行ってください。また、充電が完了したら速やかに、コンセントや充電コネクタを取外してください。
- k) 破損や不適切な条件下では、バッテリーから電解液が漏れる恐れがあります。万一電解液が漏れた場合は、直接触らないでください。誤って皮膚に触れた場合や目に入った場合、十分に流水で洗い流して直ちに専門医の診断を受けてください。
- l) 直射日光に当たる場所や、夏場の車内など極端に高温な場所に、長時間放置・保管しないでください。
- m) 製品の修理は弊社サポートセンターもしくは、弊社が適切な技術を有すると認め有資格者のみが行ってください。
- n) 家庭用コンセントから充電する場合は、日本仕様は100V、アメリカ仕様は120Vでのみ充電してください。指定された以外の高い電圧で充電すると、故障や破損の原因となります。
- o) 不適切な使用、用法、お客様の瑕疵による破損の場合、無料・有償を問わず修理サービスを提供できない場合があります。

この取扱説明書は大切に保管してください。

## はじめに本書の内容

はじめに

この度は高品質大容量ポータブルバッテリーDELTAをご購入頂き誠にありがとうございます。

搭載されているバッテリーの寿命を延ばし安全にお使い頂くため、出荷時製品の電源がオフになっています。お使いになる際には、製品本体のNO/OFF電源ボタンを長押しして、本体の電源をオンにしてください。

製品本体前面・背面の各種出力をお使いになる際は、各面のDC・AC電源ボタンを押して、パイロットランプが点灯してからお使いください。

長期間お使いにならない場合は安全の為本体の充電容量を50~70%程度にし、本体の電源をON /OFF電源ボタンを長押しして本体電源をOFFにしてください。また、高温・低温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

安全上3ヶ月に一度程度電源をONにして適切な充電容量を確認/維持し、各部の機能に異常が無いが確認してください。

本書の内容

各部の名称と機能：製品のポート、ボタン、ディスプレイなど各部の名称と機能の説明

技術仕様：製品に関する仕様詳細

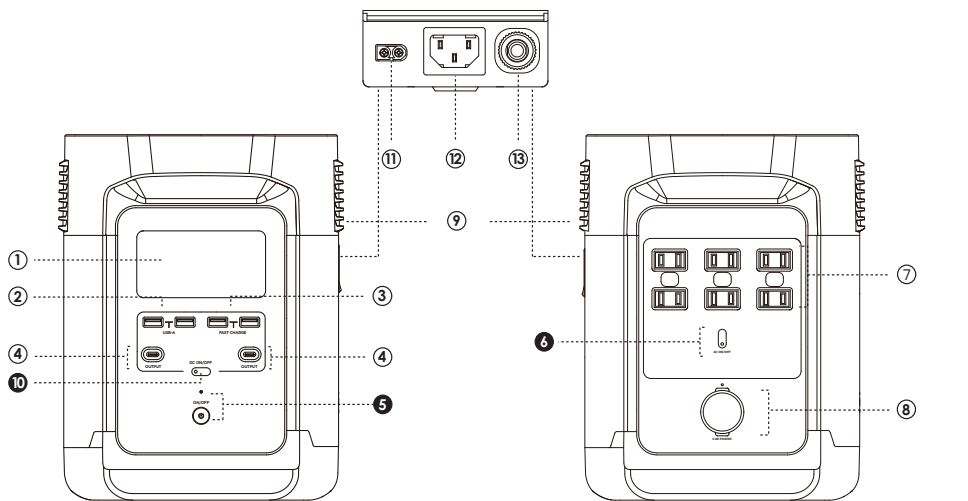
充電方法：家庭用コンセント、車載シガーソケットおよびソーラー充電器による充電方法

よくある質問：よくあるご質問と、製品のお手入れ、保管や安全な使い方に関する説明

製品内容物：パッケージに含まれる製品の内容

※商品内容に不足が有る場合は、support.jp@ecoflow.comもしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。

## 各部の名称と機能



1. LEDディスプレイ

2. USB-Aコネクタ

3. USB-Aコネクタ（急速充電対応）

4. USB-C出力コネクタ

5. 電源ボタンとLEDディスプレイのオン/オフ（長押し）  
本体メイン電源表示灯

6. AC電源ボタン  
AC電源出力表示灯

7. ACコンセント

8. 13.6V車載シガーソケット出力  
13.6V車載シガーソケット出力  
表示灯

9. 冷却ファン

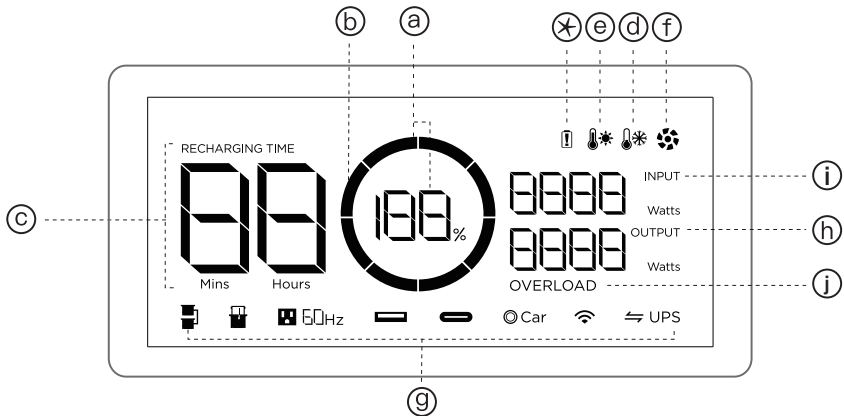
10. DC電源ボタン  
DC電源出力表示灯

11. ソーラーパネル充電用XT60  
コネクタ

12. コンセント電源入力コネクタ

13. 充電過負荷保護スイッチ

1. LEDディスプレイ - 本体の様々な状況を表示します。
2. USB-Aコネクタ - USB-Aのデバイスを接続します。
3. USB-A (急速充電) コネクタ - 急速充電に対応したデバイスは通常の約2倍の速度で充電されます。  
※急速充電非対応のデバイスは、通常充電となります。
4. USB-C出力コネクタ (60W) - USB-Cのデバイスを最大60Wで充電できます。  
※EFDELTA本体のUSB-Cコネクタは出力専用です。R500付属のACアダプターなどで充電しないでください。
5. 本体電源ボタンとLCDディスプレイオン/オフ設定 - 本体正面の電源ボタン長押しで、本体電源のオン/オフします。電源オンにするとLCDディスプレイが点灯します。続けて本体電源ボタンを押すと、LEDディスプレイをオン/オフできます。LEDディスプレイオフの状態でもいずれかの出力コネクタを使用すると、LEDディスプレイは自動的に点灯します。本体電源オンのまま5分以上いずれの出力コネクタも使用されないと、電源表示灯点滅後LEDディスプレイが消灯し本体がアイドル状態となります。さらに、DC電源ボタンとAC電源ボタンが付いた状態でアイドルのまま12時間以上経過すると、バッテリーが保護するために自動的に電源オフになります。DC電源ボタンとAC電源ボタンが付いていない状態でアイドル状態のまま30分以上経過すると、バッテリーが保護するために自動的に電源オフになります。
6. AC電源ボタン - 本体のバッテリー消費を抑えるためAC出力コネクタを使用する際は、本体背面のAC電源ボタンを押してAC電源表示ランプが点灯した状態でお使いください  
※50/60Hzの切替は、背面AC電源がオフの状態 (AC電源ボタンが点灯して居ない) で、AC電源ボタンを10秒以上長押しすると交互に変更されます。現在の設定は本体前面LEDディスプレイに表示されます。AC電源コネクタは12時間使用されないと自動的にオフになります。
7. ACコンセント - ご家庭のコンセントと同じように100V ACのデバイスを使用できます。最大出力 6コネクタ使用時：合計1600W、1コネクタ使用時：1600W
8. 13.6V車載シガーソケット - ドローン用バッテリーアダプタなど13.6V車載シガーソケットから充電できるデバイスに使用できます。ソケット使用中は車載シガーソケット出力表示灯が点灯します。
9. 排気口 - 冷却ファンの排気口です。本体温度が動作範囲を超えると冷却ファンが自動的に動作します。本体使用時は排気口を塞がないよう、排気口付近20cm以内に物を置かないでください。
10. DC電源ボタン (本体前面DC電源コネクタのオン/オフ切り替え) & DC電源出力インジケータ - 本体前面のDC電源ボタンを押して、USBコネクタなどDC電源コネクタのオン/オフを操作します。DC電源コネクタを使用する場合は、DC電源ボタンを押してDC電源表示灯が点灯した状態で使用してください。
11. ソーラーパネル/車載シガーソケット充電ポート - 別売りのXT60変換ケーブルを使用して最大直列3枚、並列6枚 (弊社110Wソーラーパネル使用時) までのソーラーパネルを接続して充電できます (本体への最大入力400W)。また車載シガーソケットからの充電は最大入力10Aです。
12. AC電源入力コンセント - 製品付属のACケーブルでご家庭のコンセントから本体へ充電ができます (日本仕様は100V)。また、独自のX-STREAM技術により本体バッテリーを充電しながら、本体背面のAC出力コンセントから電源供給が可能です。本体バッテリーが満充電の場合、ご家庭のコンセントからの電力がそのままAC出力コンセントへ供給されます (パススルー)。パススルー状態で停電などにより本体への電源入力が遮断されると、50ms (ミリ秒) 以内に本体のバッテリー電源出力へ自動的に切替ります。  
※無停電電源 (UPS) 機能では無いので、データサーバーやワークステーションのUPSとしての使用は保証されません。
13. 過負荷保護スイッチ - 充電中の入力電流が連続して20Aを超えると、AC充電ポートの過負荷保護機能が動作し (ボタンが飛び出します) 充電を停止します。入力電流が20Aを超えないよう接続し、製品本体が正常であることを確認し過負荷保護スイッチを押して充電を再開してください。



a. バッテリー残量表示 – バッテリー残量を表示します。バッテリーの残量が0%になると、画面上のバッテリー表示が点滅し始めますので、速やかに充電してください。

※リチウムイオンバッテリーは性質上、残量0%のまま長時間放置すると性能が著しく低下します。長期間使用しない場合は、残量50~70%程度で正しく保管してください。

※連続使用直後など本体の温度が高すぎると、高温充電保護機能により充電ができない場合があります。暫く風通しの良い場所で冷却し、正常温度に冷めてから充電してください

b. バッテリー故障の警告表示 – ディスプレイのリングが点滅している場合は、本体電源を一度OFFにして数分待ってから再起動してください。本体再起動後もリングの点滅が続く場合は、本体不具合の可能性が有りますので、直ちに使用を中止して弊社サポートセンターまでご連絡ください。

c. 残りの充電/出力時間 – 現在の入出力レベルでのフル充電、および出力可能な時間を分単位で表示します。

d. 低温表示 – 本体のバッテリー – 温度が低すぎることを表示します。低温時はすべての入出力が停止します。製品の温度が正常に戻ると自動的に使用可能になります。

e. 高温表示 – 本体のバッテリー – 温度が高すぎることを表示します。高温時はすべての入出力が停止し、自動的に冷却ファンが動作します。製品の温度が正常に戻ると自動的に使用可能になります。

※本体の冷却ファンは高温時以外にも適切なタイミングで自動的に動作します。

f. 冷却ファン表示 – 本体の冷却ファンが動作していることを表示します。

g. コネクタ使用状況表示 – 使用中のコネクタを表示します。AC電源周波数は50Hz/60Hzを切替え可能で、現在の周波数を表示します。

※50/60Hzの切替えは、背面AC電源がオフ状態（AC電源ボタンが点灯して居ない）でAC電源ボタンを10秒以上長押しすると交互に変更されます。










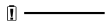
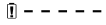
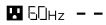
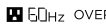
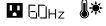

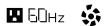

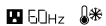


h. 出力電流表示 – 現在の出力状態をW（ワット）で表示します。

i. 入力電流 – 現在の入力状態をW（ワット）で表示します。

j. 過負荷警告 – 出力負荷状況に応じて、過負荷保護機能が搭載されています。

DC電源、AC電源それぞれ一定の出力電力を越えると、安全のため電源ボタンランプが点滅しLEDディスプレイに表示された後、数秒後に対応のコネクタからが停止します。停止したコネクタから接続されている全ての危機を外し、DC、AC各電源ボタンを長押しすると復帰します。本体およびデバイスの安全を確認し、各コネクタに接続される最大出力範囲内でお使いください。また、AC電源からの出力が最大制限出力を越えると、電源ボタンランプが点滅しLEDディスプレイに表示された後、数秒後に本体がシャットダウンされます。この場合は、接続されている全てのデバイスを外し、電源ボタンを長押しして本体を再起動してください。本体およびデバイスの安全を確認して、本体の最大出力範囲内でお使いください。LEDディスプレイ – 本体の様々な状況を表示します。

\*.保護案内表示-LEDディスプレイ画面はさまざまな本体の保護状態をアイコンと組み合わせで表示します。

-  OVERLOAD . USB-A過電流保護 - USB-A・オーバーロードのアイコンが同時点滅します。接続しているデバイスを外し約10秒間後に自動的に復帰します。
-  . USB-C高温保護 - USB-C・高温のアイコンが同時に点滅します。接続しているデバイスを外し温度が正常範囲に下がると自動的に復帰します。
- OVERLOAD . デバイスの過負荷 - 過負荷アイコンが点滅します。接続しているデバイス外し本体を再起動します。
- RECHARGING TIME  \* . 高温充電保護 - Recharging time・(!)・高温のアイコンが同時点滅します。本体のバッテリー温度が正常範囲に下がる自動的に復帰します。  
※長時間本体を使用した後すぐに充電するとこのエラーが発生する場合があります。充電の前に本体の温度を確認し、温度が高い場合は暫く冷却してから本体を充電してください。
- \* . 高温出力保護 - (!)・高温のアイコンが同時点滅します。本体の温度が正常範囲に下がると自動的に復帰します。
- RECHARGING TIME \* . 低温充電保護 - Recharging time・(!)・低温アイコンが同時点滅します。本体の温度が正常範囲に上がると自動的に復帰します。
- \* . 低温出力保護 - (!)・低温のアイコンが同時点滅します。本体の温度が正常範囲に上がると自動的に復帰します。
- RECHARGING TIME  OVERLOAD . 過電流出力保護 - Recharging time・(!)・過負荷のアイコンが同時点滅します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
-  OVERLOAD . 過電流出力保護 - (!)・過負荷のアイコンが同時点滅します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
-  . メインボード・BMS間の通信障害 - (!) アイコンが常時点灯します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
-  . バッテリーセルの障害 - (!) アイコンが常時点灯します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
-  50Hz - - - - - . メインボード・AC間の通信障害 - ACアイコンが点滅します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
-  50Hz OVERLOAD . インバーター出力過負荷 - AC・過負荷のアイコンが同時点滅します。約10秒後にAC電源ボタンを押し、AC電源コネクタの再起動後復帰します。
-  50Hz \* . インバーター高温保護 - AC・高温のアイコンが同時点滅します。接続しているデバイスを外し、本体の温度が正常範囲に下がると自動的に復帰します。
-  50Hz  . インバーター低温保護 - AC・低温のアイコンが同時点滅します。本体の温度が正常範囲に上がると自動的に復帰します。
-  50Hz \* . 冷却ファン異常 - AC・ファンのアイコンが同時点滅します。本体の電源をオフにして冷却ファンに異物などが詰まってないか確認、また冷却ファンの周囲に20cm以上の空間を開けて再起動してください。再起動しても症状が改善しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎Car OVERLOAD . 車載シガ-ソケットの過電流/過負荷 - 車アイコン・過負荷のアイコンが同時点滅します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎Car \* . 車載シガ-ソケット/XT60コネクタの過熱 - 車・高温のアイコンが同時点滅します。接続しているデバイスを外し、本体の温度が正常範囲に下がると自動的に復帰します。
- ◎Car . メインボード・MPPT間の通信障害 - 車アイコンが点滅します。接続されているデバイスを全て外し、本体を再起動してください。再起動しても正常に動作しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください

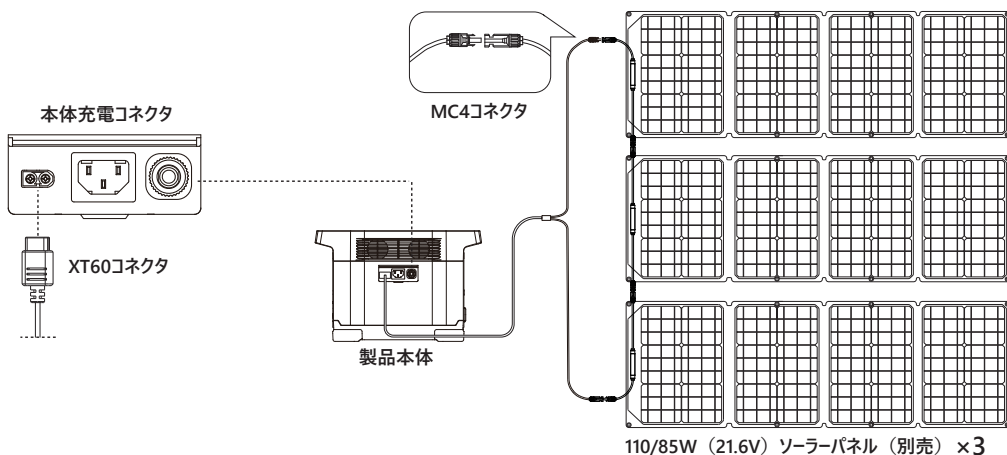
## ソーラーパネルの接続

ソーラーパネルを使用して本体を充電する方法

単一パネルの接続方法は弊社ソーラーパネルに付属のユーザーガイド参照してください。ここでは3枚のソーラーパネルを並列で接続し、本体を充電する方法を説明します。本製品は10～65VのDC入力充電に対応しています。入力電圧が高すぎると製品が損傷する恐れがあります。ソーラーパネルの数、接続および入力電力が仕様に準拠していない場合、保証期間中であっても製品の無料修理サービスをお受けできない場合があります。

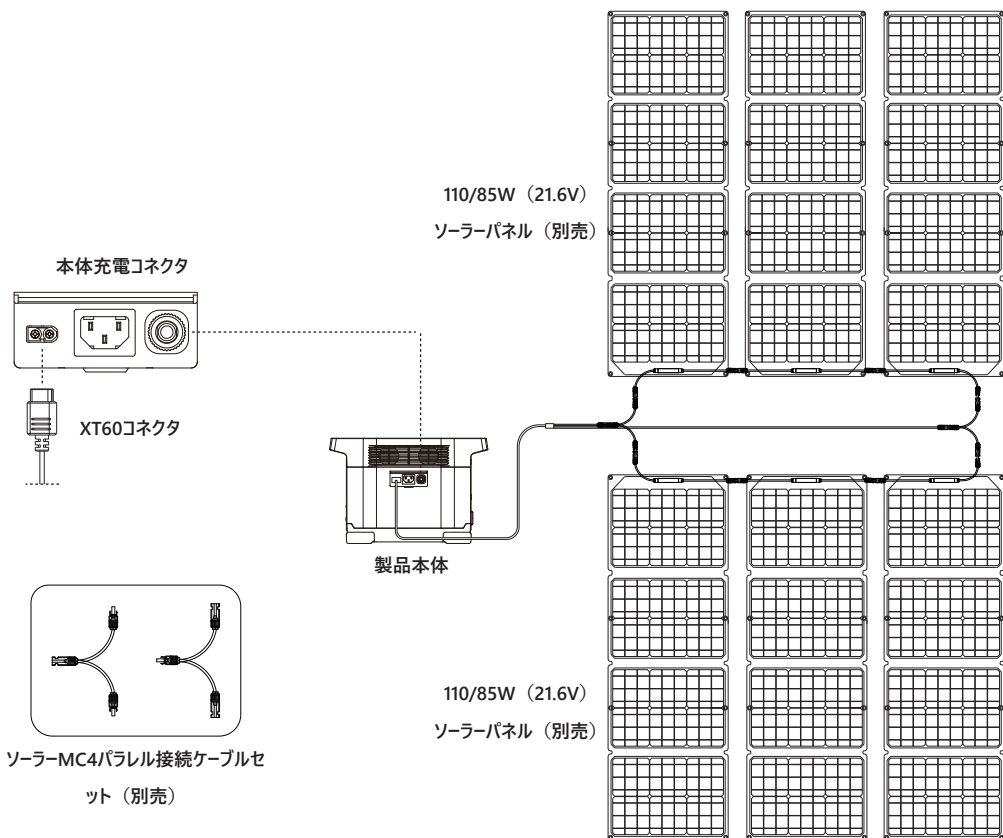
### 1.直列接続（推奨）

図に示すように、1～3枚のソーラーパネル（直列は最大3枚）を直列に接続して充電が可能です。各ソーラーパネルをMC4コネクタで接続し、MC4／XT60変換ケーブルを使用して本体のXT60入力コネクタに接続します。



### 2.シリアルおよびパラレル接続（プロフェッショナルソリューション）

図に示すように、3枚のソーラーパネルを直列に接続したセットを2セット、合計6枚のソーラーパネルを専用のソーラーMC4パラレル接続ケーブルセット（別売）を使用して充電が可能です。



### 3. サードパーティのソーラーパネルの使用 (DIYソリューション)

電力仕様 (10~65V DC/10A) を準拠しMC4接続規格の他社製ソーラーパネルを、アクセサリのXT60変換ソーラー充電ケーブルを使用して本体を充電することができます。ただし保証期間内であっても、他社製ソーラーパネルの品質や不適切な接続/操作に起因する製品の損傷については、無料の修理サービスを受けられない場合があります。また、他社製ソーラーパネル使用時の不具合、破損、発火およびそれらに起因する損害は、弊社では保証できませんので、予めご了承の上お客様の責任においてお使いください。

## 50ms(50ミリ秒)での自動電源切替機能と複数台の直列接続モード

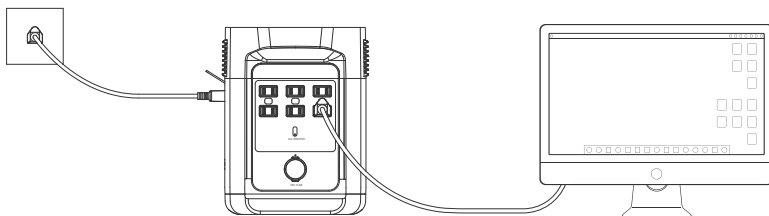
EFDELTAのX-STREAMシステムは、50ms (ミリ秒) での自動電力供給切替が可能です。コンセントとデバイスの間にEFDELTAを接続する事で、簡易的な自動電源切替を実現できます。正しく接続し、EFDELTA本体のバッテリーがフル充電の状態でお使いください。

※本機能はUPS機能を提供する物では有りません。本機能の自動電力供給切替は接続先の無停電状態を、保証する物では有りません。



## 1. 自動電力供給切替の接続方法

ご家庭のコンセントとデバイスの間に、フル充電状態のEFDELTAを接続します。EFDELTA本体の背面のAC電源ボタンを押し、AC出力をONにします。この状態で接続先デバイスの電源がONになって居ると、停電時50ms以内にEFDELTAからの電源供給へ自動的に切替ります。



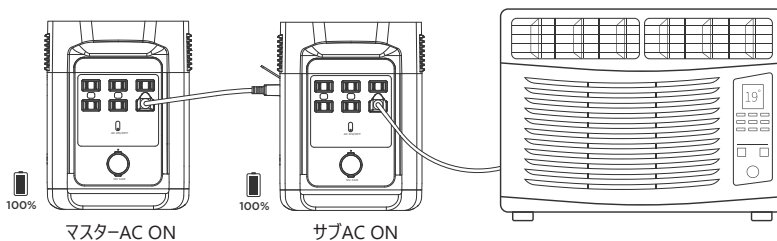
## 2. 複数台の直列接続モード

最大3台までフル充電状態のEFDELTAをAC入力／出力で接続すると、一つの大容量バッテリーと同じ様にお使い頂けます。EFDELTA本体の最大出力1600Wの電力消費デバイスで、約1.8時間の連続動作が可能となります。

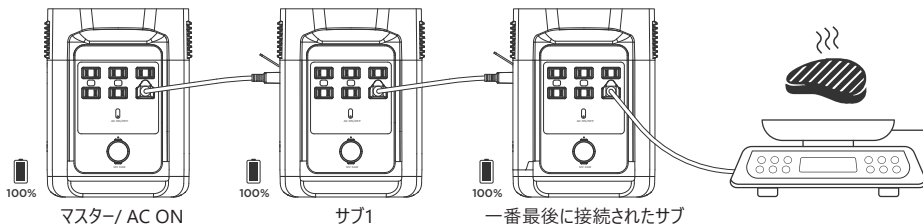
※この状態でマスターのEFDELTAを壁のコンセントに接続すると、使用電力（複数台のEFDELTAへ充電と、デバイスの消費電力の合計）が大きくなり、ご家庭のブレーカーやEFDELTAのブレーカーが作動する場合があります。

一度に大きな電力負荷がかかると危険ですので、EFDELTA本体への充電は一台ずつ個別に行ってください。

### 例1:



### 例2:



## 技術仕様

製品仕様	
本体重量	30.9Lbs (14kg)
寸法	15.7 x 8.3 x 10.6in (39.9 x 21 x 27cm)
バッテリー容量	1260Wh (50.4V)
認証	UL CE FCC ROHS

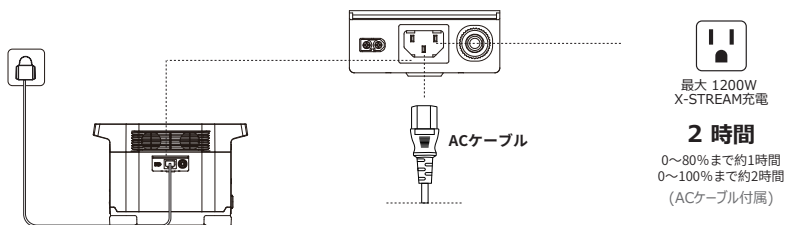
出力	
AC出力(x6)	AC総電力1600W (最大3100W) ,100V AC (50Hz/60Hz) 各AC出力コネクタ最大1600W
USB-A出力 (x2)	5V DC, 2.4A, 12W (各コネクタ最大)
USB-A急速充電 (x2)	5V DC, 9V DC, 12V DC, 2.4A, 28W (各コネクタ最大)
USB-C出力 (x2)	5V DC, 9V DC, 15V DC, 20V DC, 3A, 60W (各コネクタ最大)
車載ソケット (x1)	13.6V DC, 8A, 108.8W (最大)

入力	
AC充電入力	100V AC, 50/60Hz (最大 1200W)
ソーラー充電入力	10-65V DC 10A (最大 400W)
車両の充電器 (例2)	12V/24V DC 10A (最大 400W)

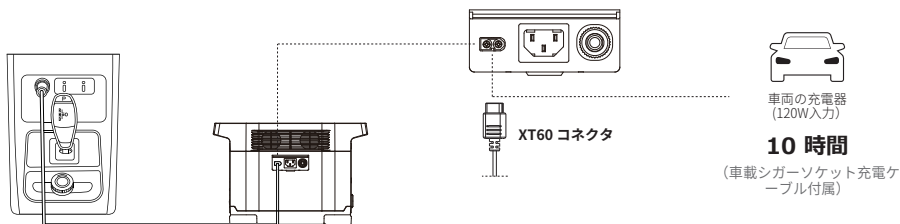
バッテリー	
電池素材	三元素リチウムイオン
電池形式	18650
使用温度範囲	-4-113°F (-20-45°C) 結露なき事
充電温度範囲	32-113°F (0-45°C) 結露なき事
保証期間	購入時から2年
充電回数	800 サイクル (残存容量80%+想定)

## EFDELTA の再充電方法

### 例1:



### 例2:



AC ケーブル、ソーラーパネル、車載シガーソケット (XT60変換アダプタ使用) から充電することが可能です。本体に充電しながら他のデバイスへ同時に電力供給が可能です。

## FAQs

### 本体のお手入れ

製品本体に付いた汚れや埃は、思わぬ故障や変色などを招く場合があります。溶剤やクリーナーの使用は避け、適時乾いた布や固く絞った布で本体を拭いてください。それでも取れない汚れは中性洗剤を水で薄め、固く絞った布で拭いてください。本体やコネクタ部に水分や湿気が残った状態で使用しないでください。本体に変形、変色、液漏れや異音、発煙などが有る場合は直ちに

使用を中止して、弊社サポートセンターまでご連絡ください。また水濡れ、極端な高温/低温、多湿、直射日光が長時間当たる場所での使用は避けてください。

#### 製品の長期保存方法

本製品は独自の高度なバッテリー管理システムを搭載し、長時間のバッテリー電力管理が可能です。ですが、長期間使用しないで保管する場合は、下記に留意して正しく保管してください。

本体の充電容量を50~70%程度にし、本体電源をOFFにしてください。

高温・低温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

横や逆さにしての使用、保管しないでください。

安全上3ヶ月に一度程度電源をONにして適切な充電容量を確認/維持し、各部に異常が無いか確認してください。


#### 製品を安全に使用するために

温度や湿度など適切な動作条件で使用してください。

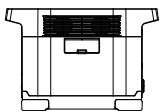
製品本体を水に浸けたり、濡れた状態で使用しないでください。

製品本体は横向きや逆さにしないで、平らな安定して設置できる場所で使用してください。

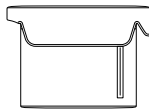
**本体バッテリーを0%まで使った直後は、本体温度が高くなっている為、すぐに再充電ができない場合があります。**

本体温度が高い場合はLED画面に RECHARGING TIME \* が表示されます。しばらく放置し表示マークが消えてから再充電してください。

## 同梱物



製品本体



EFDELTA用キャリングバッグ



EFDELTA専用ACケーブル  
(入力1.5m)



EFDELTA専用車載シガーソケット充電ケーブル (入力1.5m)



ユーザーマニュアル/保証書



XT60変換ソーラー充電ケーブル  
(MC4からXT60へ入力)

## オプション



車載シガーソケット/バッテリー  
クランプ (出力)

\*アクセサリの詳細は弊社Webサイト (<https://ecoflow.com>) をご覧ください